

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	・ふるさと岐阜への愛着と誇り、平和や自己実現につながる総合的な学習「陽南MIRAI'S」の充実	A	・アンケート項目「将来について夢や希望をもって取り組んでいる」では、保護者から6割強の肯定的な回答が得られた。 ・総合的な学習の時間(インテンシブ学習)において、3年生は平和をテーマにして探究的な学習を行うことができた。	・3年生の生徒版インテンシブでは、どの生徒もそれぞれの個性を感じるテーマを選び、追究し、まとめることで、生徒自身も楽しく発表している。 ・3年生の発表を聞く1、2年生の姿勢もよかった。	・今後も総合的な学習「陽南MIRAI'S」を継続し、3年生における生徒版インテンシブの発表内容を充実させる。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	・学校運営協議会との協働による教育活動の充実	B	・アンケート項目「地域の活動に進んで参加している」では、保護者から約4割の肯定的な回答が得られた。 ・校区の施設訪問(1年)や、企業見学(2年)を実施した。	・今後も保護者や教育委員会を巻き込んで、生徒が喜びを実感できる学校運営をしていきたい。学校運営協議委員は学校の応援団でありたい。	・今年度は支援推進委員会の活動で、親子で鑑賞会などを開催することができ、本物に触れる機会となった。今後も継続したい。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	・S4導入による、学級経営の見直し・改善	A	・アンケート項目「仲間の頑張りやよさを認め、声をかけたり、共に活動に取り組んだりしている」では、保護者からも職員からの9割以上の肯定的な回答が得られた。 ・学級活動や行事を通して、仲間の頑張りを見つけ、共に認め合うことができた。	・先生が生徒のがんばりを全力で応援したり、共に取り組んだりする姿が、生徒にがんばる安心感を与えている。 ・集団での学びは社会で生きる力になっていく。	・S4(1年間を4つのシーズンに分ける)を継続し、シーズンごとに目指す姿を共通理解し、仲間のがんばりを認めうあたたかい仲間づくりをめざす。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	・健康アンケート、「ここタン」等を活用すると共に、生徒一人一人に寄り添う教職員集団	A	・アンケート項目「健康アンケートや、生徒保護者との対話を大切に、個別の支援に生かしている」では、職員から、100%の肯定的な回答が得られた。 ・健康アンケートやここタンと共に日常生活の様子から生徒の思いに寄り添うことができた。	・落ち着いた授業に取り組んでおり、一人一人の生徒の意見を大事に取り上げられていて、惜しみなく思いが述べられているように感じた。	・今後も、ICT機器を活用することで増えた時間で、生徒との対話を増やし、生徒が安心して生活できる環境づくりを目指す。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	・ICT機器を活用した業務改善	A	・アンケート項目「ICTを活用し、効率よく仕事ができるように努めている」では、職員から、約9割強の肯定的な回答が得られた。 ・学習支援ツール(ロイロノート)を用いた授業を多く仕組むことができた。授業をもつ教員は全員ロイロ認定ティーチャー取得に向けて取り組んだ。	・タブレットを用いた学習がどの教科においても、昨年以上に中心に据えられて、道具として使いこなして驚いた。	・ICT機器を使用することで紙媒体にはない情報共有の速さなどを活用して、業務改善をすすめていく。